

(参考様式5-1)

森地区活性化計画 改善計画書

平成24年 8月17日作成

都道府県名	計画主体名	地区名	計画期間	実施期間
北海道	森町	森	平成21年度～平成23年度	平成21年度
事業メニュー名	事業内容及び事業量			事業実施主体
農林水産物集出荷 貯蔵施設	馬鈴薯共選施設 (2,690㎡)、貯蔵庫 (1,196t) 馬鈴薯共選機械 (日量50t)、風乾倉庫 (30t×3) コンテナ (1.3t×872基) ハイマストフォークリフト (3t)			新函館農業協同組合

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値A	実績値B	達成率 (%) B/A	備考
地域産物の販売量の増加	31.85	-4.89	-15.4	

2 目標が達成されなかった要因

<p>選果施設については、年度内稼働を予定していたが、道内初めての施設（風乾倉庫）の設計に思ったより時間がかかり着工が遅れ選果出来なかったため、販売量の達成率が下がる原因になった。 しかし、単年度ごとの平成22・23年度の実績については、施設整備により順調に推移している。</p>
--

3 目標達成に向けた方策

目標達成年度	平成24年度
事業の推進体制	森町・JA・渡島農業改良普及センターと連携し取組を推進する。
具体的取組方策	施設整備をしたことにより、平成22・23年度については、貯蔵庫を有効活用し原料の劣化を防ぎ青芋の比率が大幅に減少した。風乾倉庫を導入したことにより馬鈴薯の皮剥けが減り品質が向上したため、各市場から評価をされ単価にも反映されたため、共選出荷へと誘導できた。今後も出荷量を確保するため同様の取組を継続する。また、普及センターと連携を図り栽培技術の向上に努める。

4 改善計画に対する第三者の意見

<p>(コメント) 森町営農指導対策協議会 当初目標達成率の低下原因が把握されており、平成22・23年度についても順調に推移している。平成24年は、融雪による定植の遅れなどがあったが、天候にも恵まれ平年並の収穫となり、7月23日から共選が始まり充分期待できる。</p>
--

<td> 5 日</td>
<td>水</td>
<td>田崎</td>
</tr>
<tr>
<td> 1 2 日</td>
<td>水</td>
<td>田崎</td>
</tr>